昭和女子大学大学院 言語教育・コミュニケーション専攻 2019年前期 外部講師講演会

2019年6月8日 (土曜日)

講演会:13:10~15:00 場所:8号館4S31教室

講演会

子どもの第二言語習得研究と第二言語教育 -習得開始年齢に焦点を当てて-

講師:西川朋美

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 准教授

概要:本講演では、第二言語習得(SLA)研究の中でも、子どものSLAに注目します。最初にSLA研究がどのような研究分野であるかについて簡単にお話した後、SLAと習得開始年齢の関係(=臨界期仮説)に関する一連の研究を紹介します。臨界期仮説に関する多くの研究が、長期的なスパンで考えると大人よりも子どものほうがSLAに有利であることを実証してきました。とはいえ、子どもであれば、何の苦労もなく第二言語が習得できるのかといえば、そのようなことはありません。子どもたちにはどのような第二言語教育が必要なのか、講演者自身がこれまでに行ってきた研究も紹介しながら考えたいと思います。

【主な著作】

- ・西川朋美(2018)「子どもの第二言語習得研究と日本語教育—JSLの子どもを対象とした研究と実践への道しるベート『子どもの日本語教育研究』第1号,38-60
- ・西川朋美・青木由香(2018)『日本生まれ・育ちの外国人の子どもの日本語力に潜む盲点 ー簡単な和語動詞での隠れたつまずき―』ひつじ書房



主催:大学院 言語教育・コミュニケーション専攻

問い合わせ:genkomi@swu.ac.jp 事前予約不要・参加費無料